

平成 29 年度 第 8 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 29 年 11 月 14 日 午前 9 時 30 分から

場所 宍粟市役所 402 会議室

第8回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成29年11月14日（火） 午前9時30分～午前10時45分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所 402会議室

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

教育委員	西岡章寿	教育長	中山由香里	委員
	前田純恵	委員	金本一二	委員

事務局

藤原卓郎	教育部長	前田正人	教育部次長
田路正幸	教育部次長	橋本 徹	教育総務課長
山本哲史	学校教育課長	中尾善弘	こども未来課長
西林文隆	施設整備課長	藤井康明	社会教育文化財課長
西岡 修	学校給食センター副所長	樽本勝弘	まちづくり推進部次長
大田敦子	人権推進課長	福元佳代	教育総務課副課長

3 開会

西岡教育長が開会した。

4 会議の成立宣言

出席者数4名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

前田委員

6 前回会議録の承認

平成29年度第7回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、橋本教育総務課長が説明し、承認された。

7 教育長報告

次の3点について西岡教育長が報告した。

(1) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

一宮南中学校区の学校規模適正化については、12月12日に第11回協議会を開催し、校歌を決定いただく予定である。来年2月には、最終の協議会開催予定である。

幼保一元化については、戸原地区は、12月下旬に次の協議会を開催する予定で調整を進めている。また、一宮北中学校区は、用地取得に向け引き続き地権者と交渉を行っている。設計監理業務にも12月下旬から着手したいので、12月予算補正において要望している。

(2) 実践発表会、教育研修所研究大会について

11月16日（木）一宮北中学校区において、西播磨地区人権教育研究協議会指定の人権教育実践発表会（学校教育の部・本発表）が開催される。

平成30年1月10日（水）に「平成29年度宍粟市教育研修所教育研究大会」を山崎文化会館で開催するので、委員の皆様も出席をお願いします。記念講演として木村泰子大阪市立大空小学校の初代校長の講演を予定している。

(3) その他

第13回宍粟市ロードレース大会を11月26日（日）に家原遺跡公園周辺で開催する。今年度は1,094組、1,291人が参加予定である。

平成30年の成人式を1月7日（日）山崎文化会館で開催する予定で、準備をすすめているところである。委員の皆様の出席をよろしくお願いします。

8 議事

議事に入る前に、第7号議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、歳入歳出予算のうち教育に関する部分で議会の議決を経るべき事件の議案作成において、教育委員会の意見を聞くこととなっているもので、議会提案前の内容となっている。また、第8号議案は、地方自治法第149条の規定に基づき地方公共団体の長が担任する事務で、議会の議決を経るべき事件の議案で、同じく議会提案前の内容となっている。いずれも地方公共団体として意思形成過程、意思形成の中立性の観点から非公開にしたいと教育長が説明し、審議の結果、全員「異議なし」とし、第7号議案、第8号議案は協議報告事項終了後の非公開審議と決定された。

第6号議案 平成30年度宍粟市立学校教職員の人事異動方針について

平成30年度宍粟市立学校教職員の人事異動を実施するにあたり、異動方針を決定する必要があることを山本学校教育課長が説明した

審議の結果、全員「異議なし」とし、決定された。

9 協議報告事項

(1) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

資料1「学校規模適正化・幼保一元化推進の状況」により、学校規模適正化について橋本教育総務課長が、幼保一元化について中尾こども未来課長が報告した。

(2) 平成30年度宍粟市就学援助制度について

資料2「2017年10月5日神戸新聞記事」ほかにより、橋本教育総務課長が報告した。

(3) 宍粟市教育委員会事務事業（平成28年度実施事業）評価結果について

別冊1「平成29年度（平成28年度事業対象）宍粟市教育委員会点検・評価報告書」により、橋本教育総務課長が報告した。

(4) 宍粟市教育研修所研究大会について

資料3「平成29年度宍粟市教育研修所教育研究大会開催要項（案）」により、山本学校教育課長が報告した。

(5) 次期教育振興基本計画の策定状況について（中間報告）

別冊2「宍粟市義務教育の振興に係る長期構想「しそうの子ども生き生きプラン」基本理念について」により、山本学校教育課長が報告した。

(6) 平成29年度成人式について

資料4「平成30年宍粟市成人式」により、藤井社会教育文化財課長が報告した。

(7) 一宮市民協働センターについて

資料5「一宮市民協働センター基本設計図」により、藤原教育部長が報告した。

(8) 学校給食における異物混入対応状況について

資料6「平成29年度学校給食センター異物混入状況及び対策（10月度）」により、西岡学校給食センター副所長が報告した。

(9) 12月人権週間関連事業・西播磨人権のつどいについて

資料7「12月4日～10日は人権週間です」ほかにより、大田人権推進課長が報告した。

(10) 人権文化をすすめる学習会について

資料8「人権をすすめる学習会」により、大田人権推進課長が報告した。

(11) S1（エスワン）グランプリ表彰式&講演会について

資料9「S1グランプリ表彰式&清水健さん講演会」により、大田人権推進課長が報告した。

(12) 第13回宍粟市ロードレース大会申込状況について

資料10「宍粟市ロードレース大会参加申込者数」により、樽本まちづくり推進部次長が報告した。

(13) 宍粟市体育協会主催ソフトボール教室について

資料11「メダリストと共に！！ソフトボール教室」により、樽本まちづくり推進部次長が報告した。

(14) スポニックパーカー宮テニスコート人工芝改設工事の入札結果について

資料12「工事概要」により、樽本まちづくり推進部次長が報告した。

委員の主な意見及び事務局等の説明

(金本委員)

就学援助制度について、昨年度、認定基準の見直しがあったが、それにより申請者が増えたかどうか。また、現在市内で何%の方が認定となっているのか教えてほしい。また、新入学費について入学前給付の検討について説明があったが、新入学生の保護者への周知もあるので、学校や民生委員児童委員の皆さんに、周知について協力等いただければ良いと思うが、今後の予定を教えてください。

(教育総務課長)

就学援助制度について、申請対象要件が H28 年度と H29 年度では変更となったが、認定者総数は 10 名増えた程度であり変わらない。その内訳は、H29 年 10 月 31 日現在で、要保護世帯が小・中学校合わせて 8 人、準要保護世帯が小・中学校合わせて 255 人である。割合としては、全生徒数の約 9%程度である。来月 12 月予定の市民生委員児童委員会会長会において制度改正予定の概要説明を行い、今後、市補正予算等の諸手続き後、各地区民生委員児童委員会で H30 年度に向けた申請手続きについて説明する予定である。また、新入学生の保護者は、幼稚園、保育所保護者等、就学施設も異なるので、新入学の情報が行き届くよう広報の面でも周知徹底を図っていく予定である。

(西岡教育長)

今月出席した県の都市教育長協議会で、就学援助費の新入学費の支給時期が議題となっていた。特に小学 6 年生の保護者については、中学入学の時期は決まっていることもあり、事前の積み立て等家庭での準備姿勢にも課題があるのではないかと、また家庭への指導も必要ではないかという意見もあったので、ここで紹介させていただく。

(前田委員) 高校生に対しての就学援助費の制度はあるのか。また、他市町での高校の就学援助の状況を教えてください。

(教育総務課長)

市の就学援助費は、義務教育施設に通う児童生徒の保護者に対して行っている。高校生に対するものとして、宍粟市奨学金として申請書の経済状況を認定要件として入学時に入学準備金 5 万円を給付する奨学金制度があるが、高校生の就学援助制度は市としては有していない。H22 年度から公立高校の授業料を無償化とする高校授業料無償化法の制度があったが、H26 年度以降には一定要件のもとで、授業料を弁済の制度となり、所得 910 万円以下の世帯については申請により授業料が弁済されるようになった。県内では、月額による奨学金が制度化されている市町もあるが、H26 年度の国による授業料弁済の制度が始まったこともあり、市町独自の奨学金制度も今後変わるようになるのではないかと、月額奨学金実施の市町への調査でお聞きしているところである。

(金本委員)

次期教育振興基本計画(案)の基本理念には「夢と自信をもち」の文言記載がある。夢を持つことは大切なことである。「夢」という字に人偏が付くと「夢(はかな)い」になる。自己中心的な事を考えていくと儚い夢になる。「夢」は自分にとって大切なことであるが、みんなが幸せになる夢が儚くない夢であると思うので、心のどこかにこの事を留めてもらって、「夢」を追求する基本計画を策定いただきたいと思う。

(学校教育課長)

わかりました。いただいたご意見を参考に取り組んでいきます。

(中山委員)

(仮称) 一宮市民協働センターについて、図書室のスペースが現在のセンターいちのみや図書室の規模と変わらないという説明であった。今のセンターいちのみや図書室には小中学生が勉強できるスペースが無く、勉強している姿が見られないが、市民協働センター図書室には、学習スペースは考えていないのか教えてほしい。

(教育部長)

予定の図書室については、図書館機能を有するところまでは、なかなかいかない状況であり、図書の貸出し業務が中心となり、学習スペースを確保するところまでは難しいのではないかなと思う。教育委員会としても、学習スペースは欲しいところではあるが、施設の全体的な面積が決まっていることもあり、現時点ではできるだけ蔵書を増やしていく方向で検討している。

(西岡教育長)

H27 年度に建設したちくさ図書館でも学習室が欲しかったという意見も出ていたこともあり、今後、教育委員会では、学習スペースについての提案をしていきたいと思う。

(前田委員)

(仮称) 一宮市民協働センターの機能について教えて欲しい。

(教育部長)

センターいちのみやもかなり老朽化していることもあり、一宮市民協働センターに市民局にある各機能を集約していく方向である。まだ計画であり、はっきり決まってはいないが、センターいちのみやは取り壊しも視野に入れながら、活用を検討しているところである。

(西岡教育長)

市民協働センターという考え方により、今後、千種、波賀も順番に計画が進められる予定になっている。

10 議事

第7号議案 平成29年度栄栗市一般会計12月補正予算（教育委員会関係）案について

平成29年度栄栗市一般会計12月補正予算（教育委員会関係）案の栄栗市議会への上程に先立ち、市長が教育委員会に意見を求めるものであることを橋本教育総務課長が説明し、教育総務課、学校教育課、こども未来課のそれぞれの補正予算概要案を各課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし、同意することを決定された。

第8号議案 栄栗市奨学金支給条例の一部を改正する条例案について

子どもの貧困対策を推進するうえで、高等学校入学時の準備費用として給付する奨学金について、支給定員の廃止及び、奨学金給付額の増額により、進学意思のある生徒が安心して進学できるよう扶助の強化を行うにあたり、改正議案の市議会への提案に先立ち、市長が教育委員会に意見を求めるものであることを橋本教育総務課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし、同意することを決定された。

委員の主な意見及び事務局等の説明

(前田委員)

市奨学金支給条例の支給対象者について教えてほしい。

(教育総務課長)

対象者は向学心を持ち、奨学生の選考については、本人の申請に基づいて、出身中学校長の推薦文書が必要となり、その上で、経済的理由により修学が困難な者に対して、世帯の所得状況により審査、認定の手続きとなる。なお、所得状況の審査については、市就学援助制度の審査基準に準じて選考していただくことを予定している。

11 次回会議の招集について

平成29年12月21日（木）午後4時30分から開催すると決定した。

12 閉会

金本委員が閉会した。

以上 午前10時45分終了